

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年4月29日公開 朝鮮半島の和平交渉、それに伴う中東への影響

(日本時間4月30日午前3時)

.....
イスラエルのガリラヤより、シャローム。こんばんは。アミール・ツアルファティです。今日は2018年4月29日、日曜日です。朝鮮半島での和平交渉が、現在中東で起こっていることに与える影響につて、短く特別アップデートを行ないたいと思います。

皆さんもご存知だと思いますが、新しい国務長官ポンペオ氏が現在、イスラエルを訪れています。彼は就任宣誓の数時間後には飛行機に乗り込み、サウジアラビアのリヤドに直行しました。意味もなくそれをしたのではありません。皆さん、覚えていらっしゃるでしょうか？これは、ドナルド・トランプ大統領が就任直後に行ったのと、全く同じです。彼は、初の中東外遊で最初にリヤドに立ち寄り、その次にエルサレムに行きました。もちろんそれには理由があり、その理由とは、イスラエルとサウジアラビアは、アメリカを通してやり取りをしているためです。そして、我々が目を見張っている状況の中心は、イランです。実際に起こっている事を少し説明しますと、まず第一に、二日前、北朝鮮の指導者と韓国の指導者が、韓国で初めて対面する様子を、世界は畏敬の念を抱いて目撃しました。



金正恩朝鮮労働党委員長（左）と文在寅大統領（右）

もちろん、両者の間の国境から大きく離れたわけではありませんが、それでも現実を見れば、両国を分けていた暑さ20cmの壁を、北朝鮮が越えたのです。そして初めて、北朝鮮の指導者がテレビの生中継に顔を出したのです。編集なし、恐らく、その角度も彼は好きではなかったでしょう。これは、興味深い事でした。もちろん、二人の朝鮮の指導者たちによる首脳会談は、ポンペオ氏が国務長官に就任する前の訪問による恩恵が大きいでしょう。一つ、非常に重要な事をお伝えしておきますと、今回、私たちが目撃した南北朝鮮首脳会談には、アメリカの深い介入があったことを、多くの人が理解していません。アメリカは、トランプ大統領を通して、非常に明確に伝えました。

「北朝鮮が核兵器プログラムを続けるなら、北朝鮮政権は消え去り、北朝鮮は侵略される。」

このことが、北朝鮮に対して、実に単純明確に伝えられました。北朝鮮は、ここ数回の核実験で、それに失敗しただけでなく、あちらの核施設は深刻なダメージを受けていて、アメリカとの軍事的対立の危険なしには、その修復さえ不可能ではないかと思われる。この全貌において、アメリカが大きく力を見せつけ、解決しました。そして、北朝鮮の指導者は、自分よりもさらに狂った人間がいること、その人物が、必要であれば攻撃命令を出すため、瞬きもせず見張っていることを悟ったのです。北朝鮮にとっての悪夢は、日本や韓国、その

他の軍隊に援護されたアメリカとの直接対決で、そのために北朝鮮の指導者は悟ったのです。

「もしアメリカが、自分の国に侵略しないという保証を得られるなら、もし自ら核武装解除することでその約束を得られるなら、どんな事でもしよう。」

彼は、核ロケットを発射させるための赤いボタンを握って眠るほど、狂った指導者です。興味深いのは、二日前の文在寅大統領と金正恩との会談の結果で、次の通りです。

- ① 朝鮮半島全体における永続する平和、包括的な平和への合意。
- ② あらゆる戦闘の終了。
- ③ 朝鮮半島全体における核兵器の武装解除。

つまり、北朝鮮も韓国も朝鮮半島に核兵器を置かないということで両者が合意しました。

- ④ 交戦状態の終結宣言を、すぐにでも行う。

これは当然、アメリカと中国がその条件について彼らと交渉してからです。

- ⑤ 二人の挑戦指導者の間に、直通電話回線を設置。軍事レベルで相互直接対話を設ける。

- ⑥ 二国間で引き離された家族を元に戻す。これは素晴らしい事です。

南北朝鮮二人の指導者による首脳会談はこれで3度目でしたが、前は11年前、北朝鮮の指導者が国境を越えて韓国に入ったのはこれが初めてです。両指導者の妻たちが顔を合わせ、晚餐に参加したのもこれが初めてです。先ほども言いました通り、金正恩がテレビの生中継に自ら姿を現したのはこれが初めてです。彼らはさらに、韓国最高峰の漢拏山（ハルラサン 書記注：標高1,950m 済州島にある山）と北朝鮮最高峰の白頭山（ペクトゥサン 書記注：標高2,744m 北朝鮮と中国吉林省との国境地帯にある山）の土を使って、この場所に共に植樹、それから、両国の川の水をその木にかけました。さらに両指導者はハグまでしています。朝鮮の男性たちは通常、親友に対してでもハグはしません。皆さんの中には「これは出来過ぎだ」と思っている人もたくさんいるでしょう。しかし皆さん、この2、3年の間、私のアップデートをずっと聞いておられる方なら、ご存知の通り、

「世の問題は、北朝鮮ではない」

と私はいつも言って来ましたが、北朝鮮政権の望みはただ「生き残り」で、宗教的な概念を広めようとしているわけでも、宗教的な策略を達成しようとしているのでもなく、他の国を滅ぼそうとしているのでもないのです。ただ、彼らを滅ぼさない、彼らが政権として生き残ることの約束、彼らが求めているのはそれだけです。多くの人にとって、全てが上手く出来過ぎているように見えるのも分かります。ただ一つ、私に言えるのは、私たちが今現在目にしているのは、朝鮮半島の圧力が下がった結果として、中東における圧力のレベルが激しく上昇している様子です。なぜでしょう？それは、朝鮮の指導者がもはや敵ではなくなったことで、——それもひとえにアメリカの非常に強靱な政策のおかげですが、——それがイランのような他の標的である国々に、非常に明確なメッセージを送ったのです。

「アメリカは、彼らの好き放題にはさせない。」

イランは、朝鮮半島で現在起っていることを非常に注視していて、そして非常に、大変、物凄く懸念しています。それはイランだけでなく、ヨーロッパも同様で、ドナルド・トランプの見事な成功を目撃して、彼らは唖然としています。フランスの指導者から始まって、——彼は、アメリカを訪れて、イランとの協議は良くない事を認めました。それから続いて、現在アメリカを訪れているアンゲラ・メルケルがこの協議自体、イランが悪事を働くのを止める事は出来ない、と認めました。協議がめちゃくちゃであったことを、ようやく、初めて、誰もが認めているのです。



米仏首脳会談（写真左）と米独首脳会談（写真右）

ただ、問題は彼らの中のあまりにも多くが、この協議から物凄い額のお金を稼ごうとしていたので、彼らは協議からの撤退は望まず、それを維持しながら、これに別のものを加える方法を探っているのです。言い換えれば、彼らはこの協議から自分たちが得られる経済的利益は享受したい、そして同時に、たぶんこの先2、3年引き延ばして、別の何かに合意するように、イランを説得しようということです。

皆さん、イスラエルがずっと言い続けてきたことに、今、世界はようやく合意し始めています。それは全て、トランプ大統領のおかげです。彼は就任第一日目から、大統領選の時さえ、ずっと言い続けてきました。

「イラン協議はとんでもない協議だ。」

「とんでもない間違いであり、何が何でもこの協議をまとめようとした、アメリカ政権の恥すべき行為だ。」

そして彼は現在、エルサレムへの大使館移転など、彼が大統領選で有権者にした、多くの公約を実行しています。

ここで、なぜ、朝鮮半島での出来事が中東に影響を与えているのかについて説明したいと思います。皆さん、理解しておいてください。金正恩は、昨日の首脳会談の終了後、次のように述べています。

「アメリカが、私の国に侵略しない事を保証し、署名文書で渡してくれるのなら、私は私のすべての核施設を解体する様子を、公共の面前で、生放送で公開する。」

言い換えれば、彼は基本的には、世界に向かってこう言っているのです。

「我々が核の選択肢を維持していた唯一の理由は、世が我々を侵略し、我々を排除しようと企んでいるかも知れないと考えていたため、ただそれだけだ。」

イスラエルは、「世の問題は北朝鮮ではない」と何年もずっと言い続けて来ました。北朝鮮は対話し、交渉することが出来るのです。彼らは話をすれば、最終的にはこちらの条件に合意することもあり得るのです。彼らには、他の国を占領しようという野望はありませんから。北朝鮮は他国を占領するために兵士を送っているではありません。彼らが他の政権を手助けしているのは、単に経済的利益のためです。皆さん、理解しておいてください。北朝鮮には、他国を占領し、他国の存在を根絶させるという、宗教的戦略はありません。

それに対して、イスラエルの根絶、アメリカの根絶、それと当然、シーア派イスラムの拡散を命じるイランは、まぎれもない悪の政権です。皆さん、理解しておいてください。今、こうして話をしている間にも、イスラエルとアメリカの諜報がイランを監視しています。彼らは、シリアのフメイミムの、ロシアが支配する空軍基地に、怪しげな貨物機を持ち込んでおり、その中に精密ミサイルとドローン計画のための部品を積んでいるのだ、と我々は考えています。皆さん、現在起こっているのはこういうことです。最近のシリアでの攻撃によって、

ロシアが非常に大きく傷を負い、屈辱を受けた事実を、イランが利用しているのです。ロシアは世界に向かって次のように言っています。

「我々は、シリアにS-300地対空防衛システムを与える。彼らには、自衛してもらう必要がある。」

そして同時に、ロシアは、イランが自ら地位を確立しようとする動きをかくまっています。そして今現在、何が起きているのかというと、トランプ大統領の株が上がっているのを、ロシアが目撃しています。イギリスの新聞「Telegraph/テレグラフ」までもが、トランプの政策が朝鮮半島にもたらした功績から、トランプをノーベル平和賞に推薦したのです。ウラディミール・プーチンはそれを見て、理解しました。

自分はもう、そこまで人気がない事、

シリアが必要としている時に、彼は大した防衛をしなかった事を。

そして今、彼は自分の地位とイメージを回復するためなら手段を選ばないことを、これまで以上に決意しています。ロシアは現在、電子戦争の発展において、前代未聞の力を注いでいます。彼らのその動きに、アメリカは大きな問題を抱えているのです。イスラエルは、あちらで起きている事を注意深く監視していますが、この数週間、私たちが目にしているのは前代未聞です。電子戦争は、今やシリアにおける、アメリカとイスラエルの最大の悩みの種です。恐らく、これが先月のT-4空軍基地の攻撃以来、イスラエルが攻撃していない理由です。それ以上に、先月我々には分からなかったが、今日、分かったことがあります。それは、攻撃を仕掛けるにあたってルールが変わり、イランやシリア国内にあるシリアの資産への攻撃は、ロシアに対する直接対立である、とロシアが解釈するようになったことです。皆さん、イスラエルが主張している、先月のT-4空軍基地攻撃に対して、イランは復讐しようと必死です。あの時、あちらでドローンの機密計画を任されていた11人以上の革命防衛隊の隊員を、我々は殺害しています。

イランは、トランプ大統領が5月12日、——今から2週間もありません——イラン協議から撤退するであろうことを理解しています。彼がイラン協議から撤退するであろう、あらゆる兆候が出ていますから、トランプ大統領が世に与えている選択肢は、これを変えるか、撤退するかのどちらかです。しかし、誰もこの協議を変えたくないのは、皆さんも私も知っている通りです。我々は何とかすべきだ、と示唆する人たちでさえ、現在の協議を変更するのではなく、また別の協議を考えようと言い、トランプ大統領は言います。

「ダメだ。これを変えなければならない。そうでなければ、我々がそこから撤退する。」

ですから、5月12日には、トランプ大統領は決断を下します。そして彼が発している演説、彼の発言、彼が世界の指導者たち、それから彼自身の議会や大臣たちに告げている言葉の全てから、トランプ大統領が来月(2018年5月)、イラン協議の生命線を抜こうと、かなり固く決意している事がうかがえます。

ところで、そのために、イスラエルの元諜報機関局長が

「2018年の5月は、この50年間で我々が経験した5月の中で、最もリスクの高いものとなるだろう。」

と発言しています。

イスラエルは恐れていません。皆さん、理解しておいてください。私たちは安心してありますし、安全だと感じています。私たちには最高の空軍があり、最高の軍隊があります。現在、私たちには、ようやく私たちを援護してくれる最高のアメリカ大統領が存在します。私たちには、国連の偏見に満ちたとんでもない議案をシャットアウトしてくれる素晴らしい友、アメリカの国連大使がいます。そして世界は、イランが正義でイスラエルが悪である、という幻想から目覚め始めています。皆さん、協議が腐っていることは、ヨーロッパでさえ理解

しています。それからさらに私たちは、イランが、自分たちだけでは何もしかけて来ない事を知っていますから、その事からも安全安心であると感じています。皆さん、理解しておいてください。イランは復讐したいのです。そして多分彼らは、他の場所でそれを行うでしょう。アルゼンチンや、他の場所のイスラエル大使館など、世界のどこかにあるイスラエルの標的を爆撃するかもしれません。しかし、イランが直接イスラエルを攻撃すると、イランの存在そのものがなくなるであろうことを、彼らは理解しています。イスラエルには、それを行う能力も、正当な理由もあることを、彼らは理解しているのです。私が思うに、我々が現在目撃しているのは、シリア国内でロシア、トルコ、イランの連合関係がこれまで以上にどんどん強く、どんどんきつく、どんどん堅くなっている様子です。彼らは、この全貌の中で、自分たちが取り残されている事を理解しているのです。

サウジの皇太子がつい先ほど、ポンペオとユダヤ人指導者の両方に二つのことを言いました。

「イランの攻撃性を、終わらせなければならない。」

皆さんは恐らくご存知ないでしょうが、毎日毎日、フーシ派反乱軍はイランのロケットを使って、リヤドや油田、海上の石油輸送船に向けて発射しているのです。サウジは戦争しています。現在、彼らはイランと直接戦争をしているのです。我々も、イランとの間に同じ問題を抱えています。我々は、イランがシリアでの地位を確立させないようにして、彼らとは間接的に戦争状態です。イスラエルの防衛大臣は、今日（4月29日）二時間前にこう言いました。

「イスラエルは大きな問題を3つ抱えている。①イラン②イラン③イランだ！」

我々が抱えているのは、それが全てです。我々はシリアを恐れてはいません。シリアはもはや、存在していませんから。我々はレバノンも恐れてはいません。ヒズボラは、イランが命令しない限り、何もしないことを我々は知っていますから。我々はヨルダンもエジプトも恐れていません。彼らは私たちの味方であり、友好国ですから。何かあるとすれば、現在、互いの平和によって得ている利益だけです。基本的に現在、イスラエルに脅威をもたらしているイスラエルの最大の敵はイランです。皆さん、理解しておいてください。イスラエルには何であれ、イランのものを奪おうという気は、全くありません。別の言い方をすれば、我々にはテヘランに侵略する計画もなければ、彼らの土地を奪う計画も一切ありません。しかしイランには、シリア、レバノン、イエメン、イラクを占領する計画があるのを、我々は見えています。そして確かにイランは、物理的に、軍事的に中東を占領しています。それがまさに、トランプ大統領が止めようと決意している事です。したがって、もし協議を変えたければ、その協議には、中東のどこにおいても、イランの駐留を認めない、ということが含まれていなければなりません。そして当然、それはありません。イランがそれに同意しないからです。それは彼らのDNAに反するのです。北朝鮮と違って、イランは拡大を望み、シーア派イスラムをあちこちに拡散し、中東を占領するという夢があるのです。これが西洋社会には理解出来ない事なのです。私はアメリカやカナダ、ヨーロッパで非常に多くの人と話をしましたが、彼らには理解出来ません。イランは北朝鮮とは違います。彼らは違う思考回路を持ち、目標も野望も異なります。彼らは北朝鮮とは違って、彼らの拡大を止めようとするトランプ大統領の厳しい政策に、屈する事はありません。

つまり、我々が目にしたのは、朝鮮半島の平和によって、中東での戦争がこれまで以上に近づいた、ということです。なぜなら、イランが最大の問題として突出し、それを誰もが理解しましたから。またアメリカは、イランと取引する国とは関わりません。それが大きな緊張を生んでいます。

プーチンは、S-300でシリアを武装しています。イランは、怪しい貨物機を毎日毎日一日に数回送り込んでいるのを、我々は現在監視しています。昔なら、非常事態には、イスラエルはすぐに破壊していましたが、現在は少し問題があることを認めざるを得ません。我々は、彼らを攻撃するのに、正しい瞬間、正しい機会を狙っていますが、事態は以前のように簡単ではありません。

ロシアは、もはや目を瞑ってはいません。ロシアはシリア国内にある彼らの基地に広がり、すでに配備されているS-400とS-300を使用する決意を固めています。基本的には、我々がステルス戦闘機を使わない限り、また、激しい電子戦争を仕掛けて、彼らのレーダーを完全に混乱させない限り、もはや私たちには何もすることが出来ません。そして現在、中東では電子戦争が最大の問題です。

ですから、朝鮮半島の和平交渉の効果として、彼らが世界のあちら側で平和について語っている時、世界のこちら側では、直接対立に向かって、どんどん準備が整いました。それはイランだけではありません。イランは現在、ロシアの援護を利用し、ロシアの庇護の下、シリアに自分たちの地位をどんどん確立しています。

繰り返しますが、現在、ロシアが運営しているフメイム空軍基地が、イランの貨物機の着陸を認めています。イランはシリア国内に19の軍事施設を置いています。彼らは膨大な数のシリア国内のシーア派たちを採用しています。イランは今、シリア国内に自身の軍隊を創り出しているのです。そして彼らは、それをするによってアメリカと直接的に対立しています。

皆さんの予測に反して、トランプ大統領の強靭さは——実際、彼は強靭だと私は思っていますが、それでも彼は戦争を望んでいません。彼は今、差し迫る戦争で、アメリカの軍事を使うことは望んでいません。現在のアメリカの軍隊は準備が出来ていません。正直に言いますと、オバマが押し付けた機能不全の状態から回復するには、少なくともあと2年はかかるでしょう。現在、トランプ大統領は何兆ドルという資金を投資して、アメリカの軍隊を再建しようとしています。それは一夜にしてはなりません。一日やひと月、一年で出来ることではないのです。現在アメリカは、非常に弱い状態にあります。ですから、私が心底思うのは、シリア攻撃では基本的に次のようなメッセージが送られたのを、我々は目撃したのです。

「我々は、ただ座って手をこまねくようなことはしないが、我々はまた、自ら中東の大戦争に飛び込むようなこともしない。シリアでの我々の駐留は、我々の国民の税金では行わない。サウジアラビアが、我々に留まってほしいのなら、サウジがそれを支払うだろう。その上でもし、我々が攻撃を行うなら、それはごく限られた中だけだ。我々には、中東を修復することは出来ないと思っているから。」

これが、トランプ大統領の言っていることです。

彼は非常に友好的な大統領です。彼は、来月大使館の開館の日、ここに来られます。

私たちは彼を賞賛します。

しかし同時に、もし現在戦争が起こり、ロシアが侵略して来たとしても、アメリカはイスラエルを助けられない事も、私たちは理解しています。

私は、それが明日起こる、と言っているのではありません。

私には、その日、その時は分かりません。

イランは、自分たちだけではイスラエルを攻撃しないだろう、と私はかなり確信しています。イスラエルは十分強く、イランは行動する前によく考えるであろうことも、私は確信しています。

しかし、私が見ているのは、イランが、シリアに地位を確立しようとするのを止めようとする、イスラエルの

動きによって、イザヤ書 17 章が起こる可能性が非常に高いということ、そして当然、その後にエゼキエル 38 章、39 章の預言が続きます。

イスラエルは、一切戦争を望んでいないと、私は心底信じています。もしイランが、シリアを出て自国に帰れば、我々には、シリアを攻撃する理由は一切なくなるのです。

しかしながら、イランは我々に敵対して、日夜、策を練り、彼らはシリア国内に施設を設けています。それは全て、将来的に、ただイスラエルを攻撃するためです。彼らは、イスラエル攻撃を企んでいるのでなければ、あちらでは必要もない武器を持ち込んでいます。それに対して、イスラエルは何もせず、手をこまねくような事は出来ません。

アメリカは、政治舞台ではイスラエルを防衛してくれるでしょう。

しかし実際の戦争では、イスラエルは自分で戦わなければなりません。

皆さん、言うておきます。

朝鮮半島の和平交渉は、皆さんが想像するより、はるかに大きく中東に影響を及ぼしています。

エゼキエルの預言が、現在成就されつつあるのか、と多くの方が疑問に思っています。我々が平和で安全な時にこれらが起こる、とエゼキエルには書かれているためです。ヘブル語の聖書を読めば理解出来るのですが、これは言い回しであって、非常に強く、決意した国家を表しているのです。軍事的に強く、それから堅く決意した精神、眠っているのではなく、警戒し、備えをして、自衛する意思がある状態。その時に、国は「平和で安全」なのです。ここはスイスでもなく、フランスやイギリスとも違います。中東では、敵がいない時はありません。エゼキエルが語る、平和で安全とは、イスラエルがヨーロッパのようになる、と言っているのではありません。エゼキエルは、イスラエルがモルディブになる、とも、バハマになる、と言っているのでもありません。ここは、決意と力を持った国、自衛を強くしている国のことです。それが、この意味するところです。我々は、ホロコースト以来、80 年から 90 年、今が最強です。

こんにちのように、「我々は自分たちで自衛する」といえた時は、未だかつてありません。

ですから、「平和だ。安全だ。」という表現を使う時は、皆さん、理解しておいてください。ヘブル語では、これはまるで今日のイスラエル人たちが感じている事を表しているようです。

私たちは朝起きて、

「イスラエルは、明日はないかも知れない」

とは思いません。私たちは

「明日はないかも知れない」

などと考えながら、子どもを育ててはいません。

絶滅の危機が迫っていた 1940 年代、50 年代、60 年代と違って、今はそれがありません。我々は安全ですし、十分に強くて、恐らく、我々の周辺のアラブ諸国の首都は、どこでも滅ぼすことが可能でしょう。それは誰もが知っています。

イスラエルは、史上最強です。それでいて、もう一つ皆さんにお伝えしたいのは、多くの方は知らないでしょうが、イスラエル人は、非常に安心で安全だと感じています。

「エゼキエルには、『城壁のない町々』と書いてあるが、イスラエルは城壁のない町々なのか？」

とよく聞かれますが、私はいつも

「そうですよ」

と答えます。国境沿いには、様々な場所に壁がありますよ。もちろん、それは国境ですから。世界の他の場所にも、それはあります。しかし、それぞれの町に、それぞれ壁があった時代はもう終わりました。国が危険なため、それぞれの町にそれぞれ壁があったという時代は終わりました。その時代は過ぎ去りました。私たちは、大人と一緒に歩いて行かなくても、子どもだけで外に遊びに行かせることが出来るのです。私たちは、他のほとんどの国のように、大人が座って、子どもたちを見ていなければならない、なんてことはありません。私たちには、その問題はありません。ですから、イスラエルは現在、安心、安全で非常に繁栄しています。おそらく、この地域では、我々が最も繁栄している国、それから、この地域で最も革新的な国でしょう。敵はそれを理解しているのです。敵はそれを知っています。我々は、非常に多くの領域で最先端を行っています。水の脱塩、農業生産、サイバー業界、インターネット防衛、ハイテク業界でも最先端、太陽資源、牛乳生産に置いて最も最先端です。イスラエルの牛は、地上のどの牛よりも最も生産量が多いのです。



大型淡水化プラント「SOREK」(左)と、クラウドによる牛のデータ統合管理(右)

皆さんもご存知であることを願いますが、敵はそれを知っています。エゼキエルが描写している強さ、安心、安全、繁栄は、現在のイスラエルに1000%当てはまります。イスラエルは現在、中東全体で最大量の天然ガスを備蓄しています。ロシアはそれを知っています。私は、それが鉤となってロシアを我々の所まで引きずり下ろすのだと信じています。皆さん、理解しなければなりません。イスラエルには力があり、革新的な精神があり、同盟国が手を組みともに攻めて来るための、軍事的、経済的、政治的な空気があり、さらに鉤、理由があるので。

中東が大混乱している中で、我々だけは、平静です。敵も、それは分かっています。パレスチナは、毎日毎日欠かさず挑戦しては、失敗しています。

彼らは地上で試しましたが、我々が彼らを止めました。

彼らは地下で試しましたが、我々が彼らを止めました。

彼らは上空の空中で試しましたが、我々が彼らを止めました。

我々には、空中にはアイアンドームがあり、地下にはトンネルを遮断するシステムがあり、地上で彼らが我々のところに侵略するのを防ぐには十分なシステムがあります。

彼らは、他に何が出来るのか分からないのです。

イスラエルを守る方は、まどろむことも眠ることもありません(詩篇121:4参照)。

エゼキエル37章にしたがって、我々を故国に戻された神。その同じ神がエゼキエル38章、39章にしたがっ

て、私たちを守られます。

私たちは理解しなければなりません。神はイスラエルに対して素晴らしく、大きな約束をしておられるのです。

皆さんの多くが聖書を持っておられると思いますが、聖書の後ろの部分は新約聖書です。皆さんはそれを新約聖書と呼んでおられます。ちなみに「新約聖書」とは、新約聖書ではなく、旧約聖書に出て来る名前です。

「新約聖書」という名前は、もともとギリシャ語で書かれた書の中で与えられました。それはエレミヤ書 31 章 31 節を通して、神がイスラエルの民に与えた約束の成就だったからです。神はイスラエルに新約、新しい契約を約束されたのです。メシアが、彼らから出ました。メシアが、彼らのところに来られました。そしてメシアは、彼らの元に戻って来られます。そして聖書が告げている通り、メシアが彼らを救われます。彼は聖書を通して、彼らに御言葉を与えただけでなく、さらに彼は、彼らを通して、契約を守る神とはどういうものかを世に示されます。

だから私は恐れません。パニックにもなりません。

これが将来でさえ、神がイスラエルを使われるおもな理由だと思います。

エゼキエル書を読んでみてください。エゼキエル書に書かれている描写にはこうあります。

「わたしがあなたがたを守る。それは、わたしがあなたがたの中であがめられるのを、諸国が見るためだ。わたしは、あなたがたを通して、わたしがあなたがたと共に行うことを通して、全世界にわたし自身を現わす。」

(エゼキエル 39:21~22 参照)

神が、イスラエルのために戦われるのです。神が、私たちを故国に戻され、土地を回復され、言語を回復され、人々を復活させ、彼らを故国に連れ戻されました。そして神が、我々をこの地で繁栄させ、そのため世は発狂し、狂っているのです。

イスラエルは、これまで世界が目にした事のないものだ、ということ認めるのは、非常に根性の要ることです。それからまた、これは私たちの力ではなく、全ては神の力であるということ認めるのは、謙虚さがなくては出来ません。イスラエルの未信者たちは、私が思うに、きっと自分たちの力だと思っているでしょう。だから、時として神は、戦争が起こることを許され、何らかの苦しみが起こるのを許しておられるのだと思います。私たちが、全ては自分たちではなく、神の力であることを理解するためです。ただ一つ、私に言えるのは、世界中で起こっている事は全て、目的があって一時の間起こっているのです。それから、先ほども言いました通り、地球のあちら側で起こっている事が、地球のこちら側で起こっていることに影響し、最終的には、神が栄光を受けられるのだ、と私は心底思っています。

ですから、今夜、皆さん全員を励ましたいと思います。朝鮮半島で起こっている事の観点から、それから大使館が間もなくエルサレムに移転するという観点から、そしてその結果として、前代未聞の暴力の波が起こるであろうこと、それから恐らくトランプ大統領が、大使館移転に出席するために、もうすぐエルサレムを訪問するであろうこと、そしてロシアの鬱憤、イランの地位の確立、それから、それを止めるイスラエルの戦い、これら全ての観点から、私たちは信者として、思い出さなければなりません。神が御座に着いておられ、最終的には、神が栄光をお受けになります。神はイスラエルに、素晴らしい将来を用意されているのです。主がそう言っておられるのです。エレミヤ書 29 章、非常に多くの人々が非常に多くの場面で何度も引用している御言葉です。

11 わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。——主の御告げ——それはわざわざいではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。

(エレミヤ書 29:11)

これは預言者がイスラエルの人たちに与えた御言葉です。もちろん、私たちは信者としてこれを享受することは出来ますが、それでも、これを文脈から切り離してはいけません。これは元々、イスラエルに与えられたのです。これらの言葉がイスラエルに与えられ、それから、主は言われます。

12 あなたがたがわたしを呼び求めて歩き、わたしに祈るなら、わたしはあなたがたに聞こう。

13 もし、あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求めるなら、わたしを見つかるだろう。

(エレミヤ書 29:12~13)

この続きを全部読めば分かりますが、預言者エレミヤは、この素晴らしい御言葉とともに、悔い改めを呼びかけていました。彼は、当時のイスラエルの人々に言っていたのです。

「あなたがたは罰を受ける。ユダよ。あなたがたは罰を受ける。」

しかし神には、さらに大きなご計画があるのです。

それもユダだけでなく、全てのイスラエル人に。

その将来と希望の約束とは、私たちが繁栄させ、私たちが故国へと戻し、土地を回復させ、言葉を回復させ、そして敵が来る時には、私たちのために立ち上がり、私たちを防衛する。この全ては、主が神であることを、世界が見るためです。

神に栄光が、とこしえにありますように。アーメン。

お父様。ありがとうございます。

あなたは契約を守る神であられ、あなたがアブラハムに偉大な契約をされた方であることに感謝します。あなたは、アブラハムにまだ子どもがいなかった時に約束をされました。彼の子孫を通して、全世界が祝福されることを、あなたが約束されたのです。そして、どの子孫が約束の子なのか、と疑問が浮かんだ時、あなたは、あなたがイサク、そしてヤコブ、後のイスラエルと契約を結ぶということ、実に明確にされました。彼らを通して、世が祝福される、と。

お父様。ありがとうございます。

あなたはすでに始めておられます。あなたは世に神の御言葉を与えられ、唯一の神を信じることを与えられ、そして、神の御子を世に与えられました。

その全てを、イスラエルの人々を通して行われ、あなたが彼らに対処されるその中で、あなたが全ての栄光をお受けになられます。そしてまた再び、あなたが神であられることを、世界は目にするのです。

お父様。朝鮮半島で起こった事に感謝します。もちろん、世界の平和を祈りますが、それでも私たちが目にしたこと、に感謝します。私たちは全てを理解することは出来ませんが、一つの事を知っています。非常にたくさんの方がこれを祈って来たこと、そして今、非常にたくさんの方が喜んでいても分かります。

お父様。北朝鮮の人々が、これら全てから恩恵を受けますように。あなたが、悪しき政権からの苦しみや重みを取り除いてください。そしてあなたが、北朝鮮という国を、その国民の素晴らしい将来のために開いてください。これをイエスの御名によって宣言します。私たちがイスラエルに希望を持っているのと同じくらい、私

私たちは朝鮮半島にも希望を持っています。

また、お父様。中東では緊張が高まっています。もうすぐ、アメリカの大使館が移転し、それに続いて、ルーマニア大使館、チェコ共和国大使館、ホンデュラス大使館、その他も移転します。

お父様。あなたの御手を、私たちの国の上に広げてお守りください。

しかし、お父様。それらが起こることは、私たちも知っています。あなたが約束され、あなたが預言者たちを通して言われたことを、私たちは知っています。

あなたは、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げられました。ダマスカスの破滅や、イスラエルへの侵略といった事です。私たちは、その事を理解しています。

しかし、お父様。私たちは祈ります。これら全てを通して、あなたの御名が栄光を受けますように。また、私たちは祈ります。あなたの子どもたちを、あなたが教育し励まして、あなたが完全に支配しておられることが、見えるようにしてください。

お父様。あなたが私たちにくださった約束に感謝します。私たちをあなたの元におらせるために、あなたは来て、私たちを連れて行ってくださいます。あなたは私たちを試練の時から取り出してください。私たちは、神の御怒りに会うようには、定められていません。お父様。あなたの御心、そして、私たちに与えられている将来に感謝します。破滅ではなく、将来と希望です。あなたに感謝し、あなたを祝福します。

この全てを、イスラエルの聖なる方の美しい御名、平和の君、神の小羊、ユダ族の獅子、インマヌエル、イエシュア、イエスの御名によってお祈りします。

全ての神の民は言います。

アーメン。

皆さん、もしまだ私たちのInstagramを見ていないなら、どうぞご覧ください。フォロワーが25,000人を超えました。そして、家族写真からイスラエル内外でのミニストリーの写真まで、美しい写真を載せています。それから、どうか私たちのYouTubeチャンネルを登録してください。登録者数が9万人を超えました。2ヶ月以内には、10万人を超えるように願い、祈っています。ソーシャルメディアを通して、神の御言葉を広めたいと願っています。それから、ウェブサイトよりニュースレターもどうぞ登録ください。Behold Israel.orgです。2019年の「Bible Experience Israel Tour/聖書体験イスラエルツアー」の受付を開始しました。参加ご希望の方は、ぜひご連絡ください。私が、現地で聖書を教えます。皆さんのお祈りとご支援、皆さんのお気持ちに感謝します。

ありがとうございます。ガリラヤより、God bless you! シャローム!

さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

南北首脳会談 夕食会の参加者発表 KOREA.net 2018.4.27

米仏首脳会談：時事ドットコムニュース

米独首脳会談：「米独首脳会談 鉄鋼輸入制限、イラン核問題で溝埋まらず」AFP 2018.4.28

大型淡水化プラント「SOREK」：「実は農業国のイスラエル、秘密は水」2018.3.27

クラウドによる牛のデータ統合管理：うさうさブログ「イスラエル酪農と Farmnote の目指すところ」2015.7.3